



**第46回電源地域  
振興担当者講習会  
を開催しました**

平成29年1月13日(金)に東京・築地の「全国情報サービス産業厚生年金会館(JJK会館)」2階多目的ホールにおいて、第46回電源地域振興担当者講習会を開催しました。

この講習会は、当センターが主催で開催しており、全国の電源地域立地市町村をはじめ、地域振興に関係ある皆様にご参加いただいております。国の諸政策や、専門家による講演、事例発表など、地域振興関連の諸情報を得ることができると、毎回ご好評いただいているものです。



第46回電源地域振興担当者講習会

今回の講習会では、地方創生被災地復興、エネルギー政策などに関連する幅広いテーマで講師陣にご講演いただきました。

経済産業省地域経済産業政策課復興庁、資源エネルギー庁電力基盤整備課、資源エネルギー庁原子力立地・核燃料サイクル課総務省地域力創造グループ地域政策課からは、平成29年度の各予算(案)や政策等についてご説明をいただきました。

また、東北経済産業局東日本大震災復興推進室からは東日本大震災後の復興状況と課題、日本原子力発電株式会社廃止措置プロジェクト室からは廃炉計画に関する基調講演をいただきました。

参加者からは、「講習会のテーマが多岐にわたる内容で良かった」、「国の担当から直接講習を受けられる貴重な機会だった。このような機会を今後も提供いただきたい」などのご感想をいただきました。

【お問い合わせ】  
地域振興部 振興業務課  
(研修事業担当)  
☎03-6372-7305  
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/hanbai/kensyuu/index.html  
✉kensyuu@dengen.or.jp



**研修No.4  
「地域農業の活性化  
策を学ぶ」を実施しました**

平成29年1月27日(金)に、電源地域振興センター会議室において、研修No.4「地域農業の活性化策を学ぶ」が開催されました。

講師であるNPO法人えがおつなげて代表の曾根原久司氏からは、「日本の田舎は宝の山、農村資源を都市のニーズと結びば10兆円産業が動き出す」と

題した基調講演がありました。ご講演のなかで曾根原氏は、地域資源と都市のニーズを結びつけた事業化の考え方や、これまで曾根原氏が各地で取り組んでこられた事例についてご紹介されました。

また、奈良先端科学技術大学院大学客員准教授の光井将一氏からは、「単なる農業振興ではなく、地域振興のツールとしての一次産業活性化と高齢化・人口減少社会への対応」と題したご講演をいただきました。その後、「本音を吐くのは恥だが役に立つ」課題の本質をとら



研修No.4 意見交換



研修No.4 講演



**研修No.5  
「地域特産品のブランド化支援」を実施しました**

平成29年2月23日(木)・24日(金)の2日間にわたって、電源地域振興センター会議室において、研修No.5「地域特産品のブランド化支援」が開催されました。研修の講師には、(株)生産者直売のれん会地域プロモーション支援本部コンサルタント伊藤拓哉氏、八木智弘氏、同社商品企画室室長・森氏の6次化プロデューサーの森讓氏の3名をお招きし、ご講演いただきました。

え、解決の道を照らすために」というテーマで、参加者同士、参加者と光井氏による意見交換を開催いたしました。

参加者からは「田舎の活かし方についてたいへん参考になった」、「これまで地域の意見しか聞いてこなかったが、全国各地の意見を聞けて良かった」等の感想が寄せられました。

【お問い合わせ】  
地域振興部 振興業務課  
(研修事業担当)  
☎03-6372-7305  
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/kensyuu/index.html  
✉kensyuu@dengen.or.jp

第1日目は、伊藤氏より、「地域特産品開発のはじめかた、育て方」というテーマでの基調講演をいただき、八木氏からは長崎県杵岐市、東京都大島町、鹿児島県指宿市の事例をご紹介いただきました。その後「経営戦略・経営資源の明確化」、「独自市場の設定」というテーマでのワークショップを開催し、参加者同士で意見やアイデアを出し合いました。第2日目には、森氏より千葉県山武市、東京都小平市での事例をご紹介いただき、「商品・市場の仮説検証」というテーマでのワークショップ

を開催しました。

事後、参加者からは「他地域の事例を多く聞くことができ、たいへん勉強になった」、「改めて地域の宝を見つめなおすことができた」といった感想が寄せられました。



研修No.5 ワークショップ

【お問い合わせ】  
地域振興部 振興業務課  
(研修事業担当)  
☎03-6372-7305  
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/kensyu/index.html  
✉kensyu@dengen.or.jp



### 研修事業のご案内

当センターでは、電源地域の長期的かつ自立的な地域振興をお手伝いすることを目的として研修事業を実施しております。当センターの研修事業には以下のような特徴があります。

- ①電源地域にとってニーズの高いテーマ設定
- ②経験豊富で専門的知見・ノウハウを有した講師陣
- ③先進事例紹介・グループワークなど具体的かつ実践的なカリキュラム

研修No.5 講演



対象は電源地域市町村・道府県の行政職員、各種団体、事業者、NPO、個人、電力会社等で電源地域の振興に関わっている方、となっております。

本研修事業を皆様の地域のまちづくりに、ぜひご活用ください。平成29年度実施予定の研修につきましては、当センターのホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】  
地域振興部 振興業務課  
(研修事業担当)  
☎03-6372-7305

🌐www2.dengen.or.jp/html/works/kensyu/index.html  
✉kensyu@dengen.or.jp



### 「博多大丸」にて 産品実践販売を 行いました

「産品実践販売」は、電源地域の特産品事業者の販売力向上を支援する事業です。大消費地においてテスト販売を行い、実店舗からのアドバイスや消費者の反応を通じて、販売テクニックの習得や消費者にニーズ把握を図ることが出来ます。産品実践販売では、「一般型」と「短期待型」の2種類の実施タイプをご用意しております。「一般型」は大都市圏の百貨店や総合スーパー等の食品催事スペースで1週間程度販売を行うものです。

「短期待型」は、消費者とのコミュニケーションがより密にとれるマルシェや商店街などの店舗で2日間程度販売を行うものとなっております。

平成29年2月15日(水)～21

日(火)までの7日間、福岡市の『博多大丸』東館エルガーラの食品催事スペースにおいて、「一般型」の実践販売を実施しました。今回は電源地域の4事業者が参加しました。参加事業者からは、「商品に対するニーズやお客様の動向を把握できた」、「1週間販売してみても、ご愛顧くださっているお客様の応援に支えられていることを改めて実感した」との感想をいただきました。

平成29年度も、こうした販売支援サービスを実施する予定です。ぜひ、下記までお気軽にお問い合わせください。詳細

お問い合わせ



博多大丸での  
実践販売



### 平成29年度上期 原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業 (通称、F補助金)の募集を開始します

F補助金は、原子力立地地域における雇用機会の創出と産業振興を図るため、雇用の増加を生む企業に対して、一定期間にわたって企業の支払った電気料金等に基づき、道府県が給付金

を交付する制度です。当センターでは、道府県からの要請を受けて交付事務・審査業務を行っています。平成29年度上期募集は、平成29年4月に行われる予定です。詳細は、募

集時の応募要領をご覧ください。応募要領は、当センターのホームページに掲載予定です。

【お問い合わせ】

総務企画部 立地審査課  
☎03-6372-7307  
🌐www2.dengen.or.jp/html/works/yuchi/yuchi01.html  
✉riti@dengen.or.jp